

茨城県近代美術館

- 昭和22年 5月3日 磯浜町（現大洗町）東光台の常陽明治記念館（現幕末と明治の博物館）内に県立美術館を設置
（1947）
- 昭和31年 4月1日 水戸市三の丸の旧県立図書館2階に移転
（1956）
- 昭和41年 5月1日 水戸市千波町の県民文化センター内に県立美術博物館として開館
（1966）
- 昭和53年 10月1日 新美術館建設調査委員会を設置
（1978）
- 昭和55年 6月24日 新美術館建設協議会を設置
（1980）
- 昭和59年 1月28日 千波湖周辺整備調査委員会発足
（1984）
- 昭和60年 5月30日 設計者に吉村順三設計事務所を選定
（1985）
- 昭和61年 2月 茨城県立新美術館建設基本大綱策定
（1986） 3月15日 「美術館建築設計」まとまる
7月30日 茨城県近代美術館建設工事着工
- 昭和62年 12月25日 茨城県近代美術館竣工
（1987）
- 昭和63年 3月28日 中村彝アトリエ竣工
（1988） 4月1日 茨城県近代美術館発足（館長匠秀夫）
4月21日 ロダン「三つの影」を搬入
4月27日 水戸商工会議所記念植樹除幕式
6月27日 中村彝会から中村彝遺品を受入れる
9月30日 開館記念式典を開催
10月1日 開館
10月1日 開館記念展第一部「モネとその仲間たち」（11月6日まで）
10月2日 シンポジウム「印象派を語る」開催
11月3日 企画展入場者10万人達成
11月13日 開館記念展第二部「現代茨城の美術展」一戦後40年の流れ一前期（12月20日まで）
- 平成元年 1月7日 開館記念展第二部「現代茨城の美術展」一戦後40年の流れ一後期（2月12日まで）
（1989） 1月19日 常陽銀行からピサロの「グルーエットの丘からの眺め、ポントワーズ」を受入れる
2月25日 生誕100年記念「中村彝・中原悌二郎と友人たち展」（3月26日まで）
4月8日 「小堀進と昭和の水彩画家」（4月23日まで）
4月29日 近代日本洋画の巨匠「黒田清輝展」（6月11日まで）
4月30日 第1回ミュージアムコンサートを開催
5月4日 企画展入場者20万人達成
6月17日 現代具象彫刻の頂点「佐藤忠良のすべて」（7月30日まで）
8月5日 ファミリー美術館'89「名作にみる世界の子供たち展」（8月27日まで）
8月12日 常設展入場者20万人達成
9月2日 「北関東の近代美術一茨城・栃木・群馬三県交流名品展」（10月8日まで）
10月13日 「茨城県芸術祭美術展覧会第一期」（10月21日まで）
10月13日 「ジャン・コクトーフェステイバル」（10月15日まで）
10月21日 「移動美術館一真壁会場」を開催（10月29日まで）
10月24日 「茨城県芸術祭美術展覧会第二期」（11月1日まで）
10月28日 皇太子殿下行啓
11月3日 「移動美術館一つくば会場」を開催（11月12日まで）
11月16日 BCS賞を受賞（第30回建築業協会賞）

	11月18日	没後100年記念「河鍋暁斎展」(12月24日まで)
平成2年	1月13日	「近代日本画史を俯瞰するーI 現代日本画巨匠展ー1971年~1989年」(3月4日まで)
(1990)	2月14日	企画展入場者30万人達成
	3月1日	モネ「ポール＝ドモワの洞窟」を購入決定
	3月7日	トルコ大使館からブルハン・ドガンチャイの「無題」を受け入れる
	3月17日	「デトロイト美術館展」(4月22日まで)
	5月3日	日本の心でパリを詩う・滞仏37年「村山密展」(6月10日まで)
	6月9日	つくば美術館(茨城県近代美術館つくば分館)開館
	6月23日	「高村光太郎・智恵子ーその造型世界」(7月22日まで)
	7月26日	ファミリー美術館'90「オルレアン美術館所蔵 フランス素描・水彩名作展 16世紀から20世紀まで」(8月22日まで)
	8月30日	入館者50万人達成
	9月8日	開館3周年記念 国際交流美術展「イタリア絵画名品展」ーコレジオからモランディまでー(10月25日まで)
	11月3日	生誕150年「ロダン展」(12月9日まで)
	11月3日	「移動美術館ー北茨城会場」(11月11日まで)
	11月17日	「移動美術館ー那珂湊会場」(11月25日まで)
	12月20日	「森芳雄展」(平成3年2月3日まで)
平成3年	2月16日	「近代日本画史を俯瞰するーII 戦後日本画の名作展ー一九四五~一九七〇ー」(3月24日まで)
(1991)	3月10日	入館者60万人達成
	4月6日	「鈴木良三・佐竹徳展」(5月6日まで)
	5月15日	「日本近代彫刻のー世紀ー写実表現から立体造形へー」(6月16日まで)
	6月22日	「スイス プチ・パレ美術館名品展ータルコフとエコール・ド・パリの画家たちー」(7月28日まで)
	8月3日	ファミリー美術館'91「宮沢賢治・童話の世界」(9月8日まで)
	9月21日	「横山大観名作展」(11月4日まで)
	10月19日	「移動美術館ー古河会場」(10月27日まで)
	11月9日	「移動美術館ー鹿島会場」(11月17日まで)
	11月13日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月28日まで)
平成4年	1月11日	「マルケ展」(2月23日まで)
(1992)	2月29日	「近代日本画史を俯瞰するーIII 昭和戦前期の日本画展ー一九二六~一九四五ー」(3月29日まで)
	4月18日	「日本芸術院会員による 茨城近代美術の精華 今日の栄光展」(5月31日まで)
	6月13日	「生誕百年記念 木内克のすべてー生命とロマンの交響ー」(7月26日まで)
	8月4日	ファミリー美術館'92「童画のパイオニアたち展ー「赤い鳥」「子供之友」「コドモノクニ」の画家ー」(9月6日まで)
	9月12日	開館5周年記念「都市風景の発見ー近代のー視点・描かれた都市ー」(10月18日まで)
	10月17日	「移動美術館ー常陸太田会場」(10月25日まで)
	10月30日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月15日まで)
	11月7日	「移動美術館ー龍ヶ崎会場」(11月15日まで)
	11月28日	「西洋絵画のなかのシェイクスピア展」(12月23日まで)
	12月2日	北関東三県美術館交流会議・開催
平成5年	1月15日	「近代日本画史を俯瞰するIV 大正期の日本画」(2月14日まで)
(1993)	2月20日	「モディリアーニ展」(3月28日まで) モディリアーニ展期間中毎週金曜日午後7時まで開館
	3月27日	緑化フェア・サテライト会場となる(5月30日まで)
	4月3日	「平山郁夫展」(5月16日まで) 平山郁夫展期間中毎週金曜日午後7時まで開館
	5月22日	「西洋画家は自然をどう見たかー芸術と自然ー」(6月20日まで)
	5月29日	入館者100万人達成
	6月26日	「舟越保武の世界」(7月25日まで)
	7月31日	ファミリー美術館'93「原田泰治の世界展」(8月29日まで)
	9月18日	「児島善三郎展」(10月31日まで)
	10月20日	「移動美術館ー下館会場」(10月28日まで)
	11月12日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月28日まで)
	11月19日	「移動美術館ー瓜連会場」(11月27日まで)

	12月12日	「エルミターージュ美術館展 イタリア ルネサンス・バロック絵画」(平成6年1月30日まで)
平成6年	2月11日	「近代日本画史を俯瞰するⅤ 明治の日本画」(3月21日まで)
(1994)	4月9日	没後30年記念「板谷波山展―出光美術館所蔵―」(5月15日まで)
	5月21日	没後20年記念「石井鶴三のすべて」(6月19日まで)
	6月25日	「エルミターージュ美術館展 フランス バロック・ロココ絵画」(7月31日まで)
	8月6日	ファミリー美術館'94「浮世絵の子どもたち」(9月7日まで)
	9月14日	匠秀夫館長逝去 勲四等瑞宝章受章
	9月17日	「レジェ展」(11月3日まで)
	11月3日	「移動美術館―石岡会場」(11月11日まで)
	11月18日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(12月4日まで)
	11月19日	「移動美術館―金砂郷会場」(11月24日まで)
	12月10日	「麻生三郎展」特別展示・松本竣介(平成7年1月29日まで)
平成7年	2月1日	加藤貞雄氏参与就任
(1995)	2月15日	没後20年記念「棟方志功展」(3月26日まで)
	4月8日	「茨城、栃木、群馬三県交流展 北関東の文人画」(5月14日まで)
	5月20日	「中村彝賞記念 青山義雄展」(6月18日まで)
	6月1日	加藤貞雄館長就任
	6月24日	「エルミターージュ美術館展 19～20世紀フランス絵画」(7月30日まで)
	8月6日	ファミリー美術館'95「若き日の日本美術―明治期の図画教科書と画家たち」(9月8日まで)
	9月15日	「ルーマニア国立美術館・ブルケンタール国立博物館所蔵 16～18世紀ヨーロッパ絵画展」 (10月29日まで)
	11月3日	「移動美術館―明野会場」(11月9日まで)
	11月11日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月26日まで)
	11月25日	「移動美術館―麻生会場」(12月3日まで)
	12月16日	道標一生のあかしを刻む「柳原義達展」(平成8年1月31日まで)
平成8年	2月10日	変幻する彩土「松井康成の世界」(3月24日まで)
(1996)	4月6日	「守屋多々志展 歴史の旅人」(5月12日まで)
	5月18日	「麗しき前衛の時代―古賀春江と三岸好太郎」(6月19日まで)
	6月29日	「交感する磁場―6つの個展 Art Today in IBARAKI」(7月28日まで)
	8月4日	ファミリー美術館'96「素材とかたち―触覚との対話―」(9月3日まで)
	9月10日	「エルミターージュ美術館展 16～19世紀スペイン絵画」(10月20日まで)
	10月12日	「移動美術館―大子会場」(10月20日まで)
	11月8日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月24日まで)
	11月23日	「移動美術館―取手会場」(12月1日まで)
	12月7日	「フランス絵画と浮世絵―東西文化の架け橋 林忠正の眼一展」(平成9年1月26日まで)
平成9年	2月8日	「ブーダンとオンフルールの画家たち展」(3月28日まで)
(1997)	4月5日	開館10周年記念「ミレーとバルビゾン派の画家たち」(5月15日まで)
	4月12日	入館者150万人達成
	5月24日	「パリの息づかい―荻須高德1901―1986」(6月22日まで)
	6月21日	移動ハイビジョン開始
	6月28日	「20世紀絵画の新大陸：ニューヨーク・スクール ポロック、デ・クーニング・・・そして現在」 (8月3日まで)
	8月10日	ファミリー美術館'97「[花・イメージ]展 美術館でつづられる花ものがたり」(9月7日まで)
	9月13日	「日本画 巨匠たちの青春―修善寺町所蔵の近代日本画を中心に―」(10月29日まで)
	10月25日	「移動美術館―神栖会場」(11月3日まで)
	11月7日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月23日まで)
	11月8日	天心記念五浦美術館(茨城県近代美術館天心記念五浦分館)開館
	11月15日	「移動美術館―下妻会場」(11月24日まで)
	12月13日	「没後50年 水彩画の革新者 中西利雄展」(平成10年2月1日まで)
平成10年	2月14日	「ポスト・ロダン―フランス彫刻の新しい風 シャルル・デスピオ展」(3月22日まで)
(1998)	4月4日	「岸田劉生の時代・そしてその後―緑と土によせる画家たちの思い―」(5月10日まで)
	5月16日	「ザッキン ― パリ市立ザッキン美術館蔵 彫刻と素描展」(6月14日まで)

	6月27日	「愛と光ノガラスの絵画 ジュマイユ展」(7月26日まで)
	8月1日	ファミリー美術館'98「桂ゆきの世界—絵画とコラージュにみる女性画家のまなざし—」(9月6日まで)
	9月19日	「巨匠たちの祭典 オルブライト=ノックス美術館展」(11月3日まで)
	10月17日	「移動美術館—常陸太田会場」(10月25日まで)
	11月7日	「移動美術館—総和会場」(11月15日まで)
	11月13日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月29日まで)
	12月12日	「森田曠平展 華麗なる歴史絵巻」(平成11年2月7日まで)
平成11年 (1999)	2月13日	「マリー・ローランサン展」(3月28日まで)
	4月4日	「土谷武展」しなやかな造形, 生成するかたち(5月9日まで)
	5月15日	「前田寛治の芸術—詩情と造形」(6月20日まで)
	6月26日	「20世紀静物画の展開 フィリップス・コレクション展」(8月1日まで)
	8月7日	ファミリー美術館'99「武井武雄—空想へのいざない—展」(9月5日まで)
	9月11日	「永遠の祈り—東山魁夷展」(10月24日まで)
	10月29日	「移動美術館—土浦会場」(11月7日まで)
	11月3日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月21日まで)
	12月11日	「中村彝賞記念 大沢昌助・奈良岡正夫展 変幻自在流 じょつぱりの画人」(平成12年1月30日まで)
平成12年 (2000)	2月11日	「2000年にみる モダンアートの100年 ハーバード大学コレクション展」(3月26日まで)
	3月15日	茨城県近代美術館運営基本大綱策定
	4月1日	「日本洋画のれきし—三重県立美術館コレクションによる—」(5月7日まで)
	5月13日	「名所絵ルネサンス—麻田鷹司展」(6月18日まで)
	6月11日	入館者200万人達成
	6月24日	「東京芸大美術館名品展」(7月30日まで)
	8月5日	ファミリー美術館2000「子供の世界—遊びと暮し」(9月3日まで)
	9月12日	「楽園の風に乗って—ホノルル美術館展」(10月22日まで)
	11月11日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月26日まで)
	11月23日	「移動美術館—麻生会場」(12月3日まで)
	12月2日	「なつかしのアメリカ エドワード・ホッパー展」(平成13年1月14日まで)
平成13年 (2001)	1月20日	「第2回現代茨城作家美術展」(2月4日まで)
	2月10日	「時代を超える日本画—山水新世紀 下保昭・色彩七変化 川崎春彦展」(3月25日まで)
	3月3日	登録美術品制度によりモネ「ルエルの眺め」とドラクロワ「聖ステパノの遺骸を抱え起こす弟子たち」を常設展で公開開始(平成17年12月まで)
	4月1日	「巴里の屋根の下に生きて パスキンとエコール・ド・パリ展」(5月20日まで)
	5月26日	「田園シンフォニー 山口薫の芸術展」(7月8日まで)
	7月14日	「アントワープ王立美術館所蔵 黄金期フランドル絵画の巨匠たち展」(8月26日まで)
	9月4日	「イタリア彫刻の20世紀」(10月28日まで)
	11月9日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月25日まで)
	11月13日	「移動美術館—下館会場」(11月25日まで)
	12月1日	「壮烈な画業 釘宮對宕展」(平成14年1月20日まで)
平成14年 (2002)	1月26日	「日本画に息吹き。父子の共演。福王寺法林・一彦展」(3月24日まで)
	4月5日	「ポップ!ポップ!!ポップ!!! 1950年代から今日までのポップ・アートの展覧会」(5月19日まで)
	5月28日	「高村光雲とその時代展」(7月7日まで)
	7月13日	「へたも絵のうち 展覧会 熊谷守一ものがたり」(9月1日まで)
	9月7日	「ドイツ表現主義の芸術展」ブリュッケと青騎士の革命児たち(10月20日まで)
	11月8日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月24日まで)
	11月16日	「移動美術館—金砂郷会場」(11月24日まで)
	11月30日	「中村彝賞記念 村井正誠 須田寿展」(平成15年1月19日まで)
平成15年 (2003)	1月25日	「第3回現代茨城作家美術展」(2月16日まで)
	2月22日	「奥田元宋展」(3月30日まで)
	4月12日	開館15周年記念シリーズ1「魂の独白ジョルジュ・ルオ—出光コレクションを中心に—」展(6月1日まで)
	6月14日	開館15周年記念シリーズ2「日本画に描かれた動物たち展—明治から今日まで—」(7月27日まで)
	8月10日	開館15周年記念シリーズ3「ヴェネツィア絵画展—ルネサンスからバロックまで—」(9月15日まで)
	9月20日	開館15周年記念シリーズ4「画家 中村彝の全貌展」(11月3日まで)

	11月8日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月24日まで)
	12月2日	「描かれた武蔵―石井鶴三 挿絵の世界―」(平成16年1月25日まで)
平成16年	1月31日	「高山辰雄展」(3月28日まで)
(2004)	4月10日	「大原美術館コレクション―珠玉の日本洋画―展」(5月23日まで)
	6月1日	「彫刻家 堀内正和の世界展」(7月19日まで)
	7月27日	「香月泰男展 <私の>シベリア, そして<私の>地球」(9月12日まで)
	9月18日	「世紀末が見た夢 ルドンとその周辺 岐阜県美術館所蔵品を中心に」(11月3日まで)
	11月12日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月28日まで)
	12月4日	「日本画・洋画名品100選展―岐阜県美術館所蔵―」(平成17年1月16日まで)
平成17年	1月16日	入館者250万人達成
(2005)	1月22日	「第4回現代茨城作家美術展」(2月13日まで)
	2月19日	「華麗なる梅花の表現展」(3月21日まで)
	4月9日	「気まぐれ美術館 州之内コレクション展」(6月5日まで)
	6月11日	「没後50年 安井曾太郎展」(7月24日まで)
	7月30日	「南仏モンペリエ ファーブル美術館所蔵 魅惑の17―19世紀フランス絵画」(9月11日まで)
	8月5日	企画展開催中の毎週金曜日における開館時間の延長(午後8時まで)実施
	9月17日	「現代日本画の巨星 片岡球子―100歳を記念して―」(11月3日まで)
	11月12日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月27日まで)
	12月10日	「現代中国の美術展」(平成18年2月5日まで)
平成18年	2月11日	「歴史浪漫展―源平の時代―展」(3月21日まで)
(2006)	4月8日	「メディア・アートの先駆者 山口勝弘展」(5月14日まで)
	5月20日	「栄光のルネサンスから華麗なロココまで」(7月17日まで)
	7月22日	「近代日本の水彩画―その歴史と展開―」(9月3日まで)
	9月16日	「家族の情景展―日本の家族を考える―」(11月5日まで)
	11月11日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(11月26日まで)
	12月2日	「村山密展」(平成19年1月14日まで)
平成19年	1月20日	「第5回現代茨城作家美術展」(2月12日まで)
(2007)	2月17日	「加山又造展」(3月25日まで)
	3月31日	加藤貞雄館長退任
	4月1日	市川政憲館長就任
	4月7日	「ポップ・アート1960's→2000's」(5月20日まで)
	6月1日	「キスリング展」(7月20日まで)
	7月28日	「水のかたち展」(9月24日まで)
	10月5日	「移動美術館―牛久会場―」(10月21日まで)
	10月6日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(10月21日まで)
	10月22日	空調設備改修のため閉館(平成20年4月18日まで)
	11月23日	「移動美術館―常総会場―」(12月9日まで)
平成20年	4月19日	「開館20周年・美術館設立60年記念 所蔵作品選 175/3000」(5月25日まで)
(2008)	6月7日	「奥谷博展」(7月21日まで)
	8月2日	「明治の洋画―解説から鑑賞へ―」(9月23日まで)
	10月4日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(10月19日まで)
	11月1日	「第23回国民文化祭・いばらき2008」(11月9日まで)
	11月22日	「大ナポレオン展」(1月25日まで)
平成21年	2月7日	「安田靉彦展」(3月22日まで)
(2009)	4月22日	「照沼コレクション展」(7月5日まで)
	8月8日	「生誕130年記念 富田溪仙展」(9月23日まで)
	10月4日	「茨城県芸術祭美術展覧会」(10月18日まで)
	10月31日	「眼をとじて―“見ること”の現在―」(12月13日まで)
	11月5日	入館者300万人達成
平成22年	1月2日	「第6回 現代茨城作家美術展」(1月27日まで)
(2010)	2月6日	「ベルギー近代美術の殿堂 アントワープ王立美術館コレクション アンソールからマグリットへ」 (3月28日まで)

- 4月10日 「川端康成コレクション展—文豪が愛した美の世界—」(6月6日まで)
- 6月12日 「日本画家 浦田正夫の世界展—制作のプロセスをたどる—」(7月11日まで)
- 7月17日 「美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」(9月12日まで)
- 10月2日 「茨城県芸術祭美術展覧会」(9月12日まで)
- 11月3日 「さよなら滝平二郎—はるかなるふるさとへ—」(1月10日まで)
- 平成23年 1月22日 「耳をすまして—美術と音楽の交差点」(3月6日まで)
- (2011) 3月11日 東日本大震災のため閉館(4月28日まで)
- 4月29日 「ふるさとを描く—いばらき美術風土記—」(6月12日まで)
- 6月18日 「第42回 日展茨城展」(7月18日まで)
- 7月30日 「輝く女たち —その強さ, 儚さ, 複雑さ」(9月11日まで)
- 10月8日 「茨城県芸術祭美術展覧会」(10月23日まで)
- 11月3日 「ウルトラマン・アート! 時代と創造—ウルトラマン&ウルトラセブン」(1月15日まで)
- 平成24年 1月21日 「第7回 現代茨城作家美術展」(2月12日まで)
- (2012) 2月14日 展示室内復旧工事のため展示室閉室(3月15日まで)
- 「【拡大版】ようこそ! 美術の森へ」
- 3月17日 「小川芋銭展—震災後の眼で, いま—」(5月20日まで)
- 5月26日 「ストラスブル美術館展 ~モダンアートへの招待~」(7月16日まで)
- 「パティスリー・焼き菓子フェア」(7月7, 8, 14, 15, 16日)
- 7月21日 「須田国太郎展 —没後50年に顧みる」(8月26日まで)
- 9月18日 「移動美術館 —堀井英男と茨城県近代美術館コレクション展 潮来市」(10月7日まで)
- 9月29日 「茨城県芸術祭美術展覧会」(10月14日まで)
- 11月3日 「水から生まれる絵 —堀井英男の版画と水彩—」(1月20日まで)
- 「マルシェ・ド・ノエル」(11月23, 24, 25日)
- 平成25年 2月5日 「二年後。自然と芸術, そしてレイクエム」(3月20日まで)
- (2013) 3月27日 「朝霞市 丸沼芸術の森所蔵アンドリュウ・ワイエス水彩・素描展」(5月19日まで)